

専門分野			
英語コーパス言語学 早期英語教育			
研究課題			
学術論文の語彙研究 小学生を対象とした、自己表現活動のための語彙研究			
教育活動			
担当授業科目(学部)			
総合英語ⅡA1-2, 総合英語ⅡA2-2, 中級英語 C1-4, 中級英語 C2-4, 基礎演習Ⅰ, 基礎演習Ⅱ, I.C.E.A1-b, I.C.E.A2-b, I.P.E.A1-a, I.P.E.A2-a, ICTと英語教育, 英語コミュニケーションⅠA1-b, 英語資格講座 A-b, 英語資格講座 B-b, 英語資格講座 C-b,			
担当授業科目(大学院)			
なし			
事項	年月	対象者	概要
教育方法の実践例			
英語が苦手な学生の支援(1)	平成28年4月～ 平成29年2月	初級英語受講者	初級英語クラスの学生は、英語が苦手な学生が多く、工夫が必要であった。そのため、2単元進んだ翌週に2単元分の小テストを行い、3単元目が終了したら、小テストを行った2単元とあわせて3単元分の中テストを行うというサイクルを3回行い、最後の10単元目終了後に10単元すべてを試験範囲とした到達度の確認を行った。この目的は、英語の苦手な学生が、到達目標にたどり着くまでのマイルストーンを細かく設定することで、着実に到達目標に近づくことを支援することである。
絵のみの絵本に簡単な英語の物語をつける アクティビティ	平成28年7月	初級英語受講者	前期の前半に学習した、構文的内容を用いて、グループで絵本にシンプルな英語の物語をつけて発表する活動を行った。
得意なこと、好きなものを発表する Show and Tell	平成28年8月	初級英語受講者	学生からの要望もあり、それぞれの学生が得意なことや好きなものを、写真または実物で聞き手に示しながら、シンプルで5行程度の英語で説明する活動を行った。プレゼンテーションの基礎構築につながる発表の決まりごと等も指導した。 学生の中には得意な楽器を持ってきて発表するものや、コンピュータで作成した絵をもってきて発表するものもあり、全員が輝ける活動となった。
作成した教材・資料集			
Attendance Card	平成28年4月～ 平成29年2月	初級英語受講者	出席、遅刻、授業ない活動におけるパフォーマンス、課題が1枚の用紙で自己管理できるシートを作成し、学生自身がパフォーマンスを可視化できるようにした。
お好み焼きクイズ	平成28年4月	初級英語受講者	英語に関心を持ってもらうためのウォームアップアクティビティとして作成した。 受講者の中に粉もの系の飲食店でアルバイトをしている学生が複数いたことから、お好み焼きのレシピを用いて英語の動詞を中心とした語彙を探索的に学ぶ教材。
道案内の英語	平成28年6月	中級英語受講者	受講者のニーズとして英語で道案内ができるようになりたいとの声があったため、ウォームアップの活動用に大阪の観

			光地で学生がイメージしやすいランドマークの道案内を英語で行うための表現の紹介と、道案内策デイの教材を作成した。
その他教育活動上特記すべき事項			
英語学習に関する簡易的ニーズ調査	平成 28 年 4 月	すべての担当科目の受講者	4 月のはじめの授業で、英語学習に関する簡易的なニーズ調査を行い、英語でどのようなことができるようになりたいか等の質問を行い、その結果を授業にできるだけ反映できるようにした。
英語が苦手な学生の支援(2)	平成 28 年 4 月から 2 月	初級英語受講者	C-learning によるクラス全体への連絡を毎回行った。授業からのドロップアウトを防ぐ目的で、毎回の課題の解説や小テスト等のリマインダを C-learning で送った。また、気持ちが緩む、学期中間時点で、出席を促す励ましのメッセージ等をおくり、ドロップアウトを食い止める取り組みを行い。経済的事情等の特別な理由を除き、学期末時点で受講者減をゼロにとどめた。
研究活動			
著書・CD・論文・学会発表 ・演奏会等の名称	単共 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又は 発表学会等の名称
著書・訳書・CD 等			
なし			
学術論文			
1. A Pilot Study to Develop a Vocabulary Building Activity for Listening & Speaking Classes -An Attempt to Combine Warm up and Vocabulary Building Activities-	単著	平成 26 年 3 月	プール学院大学 英語教育研究会 INTO THE CLASSROOM Poole Gakuin University English Education Research Bulletin、 pp32-47 (査読なし)
2. Random Forest による理学療法論文の特徴語抽出の試み-専門語彙抽出への Random Forest 応用に向けて	単著	平成 26 年 5 月	大阪大学大学院言語文化研究 科『言語文化共同研究プロジェ クト 2013 電子化言語資料分 析研究 2013-2014』pp37-44 (査読なし)
3. Random Forests による特徴語抽出-抽出語の安定性に関する調査	単著	平成 27 年 3 月	統計数理研究所『統計数理研 究所共同研究レポート 345 人 文データのテキストマイニング II』pp41-51
			プール学院大学での筆者の授業内活動に関する論文。Listening & Speaking の授業内 pair work の活性化を図るため、warm up として、座席指定と新出単語を覚える活動を関連付けた warm up を行った。具体的には、学生は授業開始直前の休み時間に、新出単語の definition の書かれた短冊を一枚ずつ受け取り、それに該当する語が割り振られた席につく。適切な席にたどり着くために、学生同士が協力するため、授業開始時にはペアワークを恥ずかしがる雰囲気緩和された。この活動に関して、学生に質問紙調査を行った結果を報告した論文。
			近年の言語研究において、文学作品の著者同定や、科学論文の分類に用いられる Random Forests の専門英語語彙抽出への応用を試みる基礎研究。分析対象データとして、筆者編纂の英語理学療法論文コーパスと汎用コーパスである Brown、Lob、Frown、Flob の学術論文のサブコーパスを用いた。結果両コーパスは 95%を超える高い判別精度で判別され、特徴語としては、functional、muscle など理学療法分野に関連の深い語が抽出された。
			2014 年 10 月 5 日に英語コーパス学会第 40 回大会で発表した「Random Forests による特徴語分析」に関して、課題となった手法の妥当性の検証、具体的には抽出語の安定性の調査を行った。本研究で用いた資料の場合 Random Forests を 50 回試行したのち共通して抽出された 100 程度の語から理学療法分野の特徴語を割り出すことで、判別指標語彙の抽出にランダム性のある Random Forests を手法とした特徴語抽出でも安定的に特徴語が抽出されることが明らかとなった。

4. 英語理学療法論文の特徴的単語連鎖－特徴語の周辺に見る、理学療法特徴表現抽出－	単著	平成 27 年 5 月	大学大学院言語文化研究科『言語文化共同研究プロジェクト 2014 電子化言語資料分析研 2014-2015』(査読なし)	筆者編纂の英語理学療法論文コーパスと医療系英語論文の汎用コーパスを用いて、英語理学療法論文に特徴的な単語連鎖を抽出し分析を行った結果を報告した論文。Random Forests により抽出した特徴語を含む 4 語の単語連鎖を割り出し、現役理学療法士により、当該分野の臨床または文献購読で役立つと考えられる表現を選定してもらい、選ばれた表現について考察を行った。その結果、activities of daily living などの表現が特徴表現としてあげられた。
5. Ransom Forests による英語理学療法論文からの特徴語抽出－Corpus of Contemporary American English Full Text 版を参照コーパスとして－	単著	平成 27 年 7 月	同志社女子大学英語英文学会“Asphodel” 50 号 pp.97-114 (査読有り)	筆者編纂の英語理学療法論文コーパスと他の医療系分野の論文の集積における特徴語が、近年の英語研究で文学作品の著者同定や、論文の分類に用いられる、アンサンブル学習による統計手法の Random Forests を用いて抽出を行った研究。抽出された語は現役理学療法士によりその妥当性が検証され、ここで抽出された語を含む表現には理学療法分野で有用な表現が多く含まれていた。
6. 英語理学療法論文からの特徴的 Multi-Word Expression の抽出－Corpus of Contemporary American English Full Text 版を参照コーパスとして－	単著	平成 28 年 3 月	大阪大学言語文化学会『言語文化』25 号 (査読有り)	近年、教育への応用を目的とした英語研究において、語彙を意味の塊で提示することの有用性が多く報告されていることから、筆者編纂の英語理学療法論文コーパスと、他の医療系分野の論文の集積に出現する 4 語を中心とした単語連鎖について検討した研究。従来からコロケーション抽出で用いられてきた G-score と文書頻度を用いて表現の抽出を行った。理学療法論文の特徴表現としては、muscle strength and power などの表現が抽出された。
7. 小学校英語自己表現活動のための語彙に関する基礎研究: “game” の周辺表現を中心に	単著	平成 28 年 12 月	『帝塚山学院大学人間科学部研究年報』	インターネット上の英語の集積である Corpus of Global Web English Full Text 版のアメリカ英語ブログのサブコーパスを分析対象とし、“game” の周辺表現のうち、とりわけ“video game” について調査を行った研究。
学会発表				
1. 英語理学療法論文における後置修飾－「人」を表す名詞と傷病名との関係性	単独	平成 25 年 6 月	大阪大学言語文化学会第 43 回大会	英語理学療法論文に出現する後置修飾の特徴を「人」を表す名詞と傷病名との関係性に焦点を当て、明らかにしようとした研究。people with などの後に、spinal cord injury などの傷病名が多く確認され、“「人」を表す名詞＋with＋傷病名” は理学療法英語では学習すべき表現であることが示唆された。
2. コーパス分析による英語理学療法論文と一般学術文章における慣用語句使用傾向の比較	単独	平成 26 年 6 月	大阪大学言語文化学会第 45 回大会	英語理学療法論文コーパスと、アメリカ英語の学術文章の集積に高頻度で出現するフレーズを比較、使用傾向を分析した研究。理学療法論文に特徴的なフレーズでは associated with や、be used to などが抽出されたが、be used to は「～に慣れている」ではなく、多くの用例で「…は～するために使われる」の意味で用いられていることが明らかになった。
3. Random Forests による英語理学療法論文特徴語分析－Corpus of Contemporary American English を参照コーパスとして－	単独	平成 26 年 10 月	英語コーパス学会第 40 回大会	理学療法論文コーパスと、他の医療系分野の学術文章との比較における理学療法論文の特徴語を分析した研究。手法として、近年、言語研究で、学術論文の分類に用いられる統計手法 Random Forests を用いた。結果 rehabilitation、motor、mobility など、理学療法分野に関

				連が深く、当該分野で汎用性が高いと考えられる語が抽出された。
4. Random Forests による英語理学療法論文特徴語句の抽出 - Corpus of Contemporary American English を参照コーパスとして -	単独	平成 27 年 3 月	統計数理研究所言語系共同研究グループ合同発表会「言語と統計 2015」	「Random Forests による特徴語分析」の抽出語の安定性の調査を行い、抽出された語を検討した結果について報告した。Random Forests を 50 回実行したのち共通して抽出された 100 程度の語から、理学療法分野の特徴語を絞り込んだ。activity など、一見一般的な語ととらえられる語の中に、句単位になれば、activities of daily living のように理学療法分野で有用な表現になる可能性を含んだ語があることが示唆された。
5. コーパスを用いた英語理学療法論文の特徴的 Multi Word Expression の分析	単独	平成 27 年 6 月	第 47 回大阪大学言語文化学会	Multi Word Expression (MWE・通常平均的に観察されるよりも多く出現する語の境界を越えた一連の語句)について英語理学療法論文と医療系英語の汎用コーパスを用いて、3 語、4 語、5 語の MWE とこれまでの先行研究で調査されていない品詞組み合わせ、たとえば、「名詞」+「名詞」の 2 語の MWE について調査、考察を行った結果を報告する。
演奏会・発表会				
なし				
その他の研究発表、演奏				
1. 小学校英語自己表現活動のための語彙に関する基礎研究: "game" の周辺表現を中心に		平成 28 年 8 月	統計数理研究所言語系共同研究グループ中間報告会	インターネット上の英語の集積である Corpus of Global Web English Web 版のアメリカ英語ブログのサブコーパスを分析対象とし、"game" の周辺表現のうち、とりわけ"video game"について調査を行った研究。
その他の著書、訳書等(雑誌原稿等を含む)				
なし				
研究助成金の受給状況				
科研費の採択				
研究タイトル	助成金タイトル、支給元		研究代表者・分担者の区別	
なし	支給額		支給年度	
その他の外部資金による活動				
研究タイトル	助成金タイトル、支給元		研究代表者・分担者の区別	
なし	支給額		支給年度	
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要		
なし				
学内委員等				
就任期間	機関名・委員名・役職名			
平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月 31 日	教務委員(オブザーバー参加)			
社会活動				
学会役員				
就任期間	学会役員名			

なし				
公開講座				
講座名、講演タイトル	単共 の別	年月	場所	概要
なし				
学外機関委員等				
就任期間	機関名・委員名・役職名			
なし				
その他、学会や学術的団体での活動、社会活動上特記すべき事項				
小学生対象英語体験主宰				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		
なし				